



欄に数値またはコメントを記入

1. 建物概要						
建物名称	特別養護老人ホーム 喜久の園	BEE	0.7	BEEランク	B-	★★

2. 重点項目への取組み度					
重点項目	得点 <sup>※</sup> /満点	取組み度	評価		
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)	3.1	/5		ふつつ	
"災害に強いしずおか"の形成 (Disaster)	3.4	/5		ふつつ	
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)	3.0	/5		ふつつ	
"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)	1.9	/5		がんばろう	
※対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)		評価 凡例	よい 4 点以上	ふつつ 3 点以上	がんばろう 3 点未満

3. 重点項目についての環境配慮概要		内訳対応項目	
各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。			
<b>"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進(Global Warming)</b>		得点	3.1
<ul style="list-style-type: none"> <li>■室内環境対策 (①室温制御/②昼光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数)</li> <li>■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上)</li> <li>■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率的運用) BPI<sub>m</sub>=0.85</li> <li>■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避) 省水型機器の採用 躯体と仕上材が容易に分別可能な設計とした</li> <li>■敷地外環境対策 (⑭地球温暖化への配慮/⑮温熱環境悪化の改善)</li> </ul>	Q-1 2 2.1 2.1.2 ① 外皮性能	<ul style="list-style-type: none"> <li>② 昼光利用設備</li> <li>③ 昼光制御</li> <li>④ 躯体材料の耐用年数</li> <li>④ 外壁仕上げ材の補修必要間隔</li> <li>④ 主要内装仕上げ材の更新必要間隔</li> <li>④ 空調換気ダクトの更新必要間隔</li> <li>④ 空調・給排水配管の更新必要間隔</li> <li>④ 主要設備機器の更新必要間隔</li> <li>⑤ 生物環境の保全と創出</li> <li>⑥ 敷地内温熱環境の向上</li> <li>⑦ 建物外皮の熱負荷抑制</li> <li>⑧ 自然エネルギー利用</li> <li>⑨ 設備システムの高効率化</li> <li>⑩ モニタリング</li> <li>⑩ 運用管理体制</li> <li>⑪ 節水</li> <li>⑪ 雨水利用システム導入の有無</li> <li>⑪ 雑排水等利用システム導入の有無</li> <li>⑫ 材料使用量の削減</li> <li>⑫ 既存建築躯体等の継続使用</li> <li>⑫ 躯体材料におけるリサイクル材の使用</li> <li>⑫ 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用</li> <li>⑫ 持続可能な森林から産出された木材</li> <li>⑫ 部材の再利用可能性向上への取組み</li> <li>⑬ 有害物質を含まない材料の使用</li> <li>⑬ 消火剤</li> <li>⑬ 断熱材</li> <li>⑬ 冷媒</li> <li>⑭ 地球温暖化への配慮</li> <li>⑮ 温熱環境悪化の改善</li> </ul>	
	Q-1 3 3.1 3.1.3 3.2 3.2.1		
	Q-2 2 2.2 2.2.1 2.2.2 2.2.3 2.2.4 2.2.5 2.2.6		
	Q-3 1 3 3.2 ⑤ ⑥		
	LR-1 1 2 3 4 4.1 4.2		
LR-2 1 1.1 1.2 1.2.1 1.2.2 2 2.1 2.1.1 2.1.2 2.1.3 2.1.4 2.1.5 2.1.6 3 3.1 3.2 3.2.1 3.2.2 3.2.3			
LR-3 1 2 2.2			
<b>"災害に強いしずおか"の形成(Disaster)</b>		得点	3.4
<ul style="list-style-type: none"> <li>■サービス性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性) 建築基準法に定められた耐震性の1.5倍を確保</li> </ul>	Q-2 2 2.1 2.1.1 2.1.2 2.4 2.4.1 2.4.2 2.4.3 2.4.4 2.4.5	<ul style="list-style-type: none"> <li>⑯ 耐震性</li> <li>⑯ 免震・制振性能</li> <li>⑰ 空調・換気設備</li> <li>⑰ 給排水・衛生設備</li> <li>⑰ 電気設備</li> <li>⑰ 機械・配管支持方法</li> <li>⑰ 通信・情報設備</li> </ul>	
<b>"しずおかユニバーサルデザイン"の推進(Universal Design)</b>		得点	3.0
<ul style="list-style-type: none"> <li>■サービス性能対策 (⑱機能性・使いやすさ/⑲心理性・快適性/⑳空間のゆとり)</li> <li>■室外環境(敷地内)対策 (㉑地域性・アメニティへの配慮)</li> </ul>	Q-2 1 1.1 1.1.3 ⑱⑲ 3 3.1 3.1.1 3.1.2 ⑳	<ul style="list-style-type: none"> <li>ユニバーサルデザイン計画</li> <li>階高のゆとり</li> <li>空間の形状・自由さ</li> <li>⑳ 地域性への配慮、快適性の向上</li> </ul>	
	Q-3 3 3.1 ㉑		
<b>"緑化及び自然景観"の保全・回復(Nature)</b>		得点	1.9
<ul style="list-style-type: none"> <li>■室外環境(敷地内)対策 (⑵生物環境の保全と創出/⑶まちなみ・景観への配慮/⑷敷地内温熱環境の向上)</li> <li>■敷地外環境対策 (⑸温熱環境悪化の改善)</li> </ul>	Q-3 1 2 3 3.2	<ul style="list-style-type: none"> <li>⑵ 生物環境の保全と創出</li> <li>⑶ まちなみ景観への配慮</li> <li>⑷ 敷地内温熱環境の向上</li> <li>⑸ 温熱環境悪化の改善</li> </ul>	
	LR-3 2 2.2 ⑸		

# CASBEE®-建築(新築)

## 評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 ■ 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	特別養護老人ホーム 喜久の園	階数	地上3
建設地	静岡県菊川市仲島二丁目4-16	構造	S造
用途地域	第一種住居地域	平均居住人員	80人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年2月 予定	評価の実施日	2020年6月19日
敷地面積	5,000㎡	作成者	高木一滋
建築面積	2,955㎡	確認日	2020年6月19日
延床面積	2,955㎡	確認者	高木一滋



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 0.7**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

138 (kg-CO<sub>2</sub>/年・1㎡)

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** **Qのスコア = 2.7**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.8

### LR 環境負荷低減性

**LRのスコア = 2.7**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.6

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.8

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.8

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b> 入居者だけでなく全ての施設利用者にとって快適かつ機能的であるとともに、地域の景観に資する建物を目指した。(これはCASBEE静岡(2016年版)による評価結果です。)		<b>その他</b> 建物を極力コンパクトにまとめることで、環境への負荷を抑えるとともに、地域の景観にも配慮した計画とした。
<b>Q1 室内環境</b> 各居室は東西に面して配置し、積極的に開口を設けることで自然採光・自然通風を促し、快適な室内環境となるよう配慮した。	<b>Q2 サービス性能</b> 主な居室の天井高は2.5m以上を確保することで快適な空間とした。 内装材は耐久性、更新性の高い材料を採用することで、ライフサイクルコストの低減とメンテナンスのしやすさに配慮した。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 良好な地域環境の維持のために、建物高さは極力抑える計画とした。 建物外観は過度な装飾を抑えるとともに、無彩色を基本とした色調とすることで、地域環境との調和を目指した。
<b>LR1 エネルギー</b> 建物外皮には適切な断熱を施すことで、外部熱負荷の抑制に配慮した。 照明器具は省エネに配慮し、LED照明器具を採用した。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 節水に配慮し、衛生器具や水栓は省水型機器を採用した。 内装の仕上は、躯体から容易に分別できるよう配慮した。	<b>LR3 敷地外環境</b> 駐車場スペースの確保と適切な車両動線計画により、周辺地域における交通負荷を抑制し、良好な交通環境の実現を図った。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される